

お客さまとのかかわり

製品・サービスの品質保証

品質方針

私たちは、お客さまが品質保証活動で使用される環境試験器を提供しており、エスペック製品のクオリティがそのままお客さまの製品のクオリティに直結していること、また、その重責を担っていることに、私たちの存在意義があると考えています。私たちは「お客さまへ安全、快適、確実に使命を果たす、より確かな製品とサービスの提供を行う」を基本理念として掲げ、グローバルカスタマーの期待に応える高品質製品の実現に向けて取り組んでいます。

品質保証体制

当社では、国内外においてEQA (ESPEC Quality Assurance) と呼ばれる独自の品質保証体制を確立し、活動を行っています。また、1993年に国内他社に先駆けて品質マネジメントの国際規格「ISO9001」の審査・登録を行いました。その後2015年のISO改正についても移行を完了して認証継続するとともに、品質保証体制の継続的改善を実施しています。2018年度は「品質マネジメントシステムの着実な遂行により、製品と対応の質を向上させ市場不良を低減する」を基本方針に掲げ、各部門の連携を密にした品質保証活動により、製品とサービスの品質向上に取り組みました。

QMC活動

エスペックでは、生産現場を中心としたQC活動を、日常業務の中から顧客満足の向上と付加価値創造の実現を目指す全社員参加型の「小集団活動」へと転換し、QMC (Quality Management Circle) 活動として実施しています。2018年度は、97サークルがさまざまなテーマで改善活動に取り組み、品質改善やコスト削減、業務効率の向上など大変高い成果をあげました。

お客さま満足の向上に向けて

予防保全とメンテナンス

お客さまに安心して製品をご使用いただくため、全国15のサービス拠点で最適な予防保全と24時間受付サービスなどによるオンコールサービスを行っています。さらに、エスペックがネットワークを介して装置の異常を検知し、早期に復旧をサポートする「エスペックオンラインサポート」も実施しています。

ITを活用した新たなアフターサービスの提供

2018年度、サービスマンの電子工程管理システムを新たに導入しました。これにより、万一の緊急事態にも、近隣地区からサービスマンが応援に駆け付け、素早く訪問ができる体制を整備しました。また、2019年6月より、スマートグラスで遠隔地にある装置の状況をリアルタイムに確認しながら装置の作業支援を行い、早期復旧にお役立ていただけるサービスを開始しました。



スマートグラスで遠隔地の装置状況を確認しながら作業支援を実施

お客さまの「面倒くさい」を解消する装置管理サポート

2019年8月、お客さま先の作業内容を管理する新たなサポートシステムを開始しました。これにより、お客さまは当社に問い合わせることなく、いつでもスマートフォンなどから装置のメンテナンス履歴を確認できます。今後もお客さまの面倒事を解消し、お役立ていただける先進的なサービスの開発に取り組んでまいります。

カスタマーサポートデスク

カスタマーサポートデスクでは、製品購入前から廃棄に至る全てのシーンにおいて、ワンストップで問題解決できる体制を整え、お客さまのさまざまなお問い合わせにダイレクトにお応えしています。2018年度は約11,000件のお問い合わせに対応しました。また、お客さまへの対応品質の向上を図るため、適切な電話対応や製品知識に関する社内教育を定期的に行っています。

ネットワークを利用した集中管理システムの提供

ネットワークを利用して複数の装置の稼働状況をモニターできる集中管理システムを提供しています。試験装置の運転状況や結果確認のための見回りが不要となるなど、より効率的な試験を行うことができます。

業界初 製品の「5年保証」の実施

主要5製品を対象に製品の「5年保証」を実施しています。製品を設置してから5年間、無償で修理対応を行います。高品質な製品と万全のサービス網を持つエスペックならではのサービスです。

豊田試験所をリニューアル

各種規格対応などお客さまの試験を幅広くサポート

2019年9月、受託試験サービスを提供する豊田試験所をリニューアルしました。車載機器に関する国際規格や業界規格、メーカー各社の独自規格などお客さまの多岐にわたる試験を幅広くサポートします。

※ P.13のESPEC NEWSもご覧ください。

ベトナムに新会社を設立

ASEAN地域のお客さまへのサポートを強化

2018年11月、ベトナムのハノイに製品メンテナンスや予防保全などのテクニカルサポートを行う新会社 ESPEC ENGINEERING VIETNAM CO., LTD. を設立しました。サポート体制を一層強化することで、ASEAN地域のお客さまのご期待にお応えしてまいります。

※ P.13のESPEC NEWSもご覧ください。

エスペック信頼性セミナー2018の開催

信頼性試験における有益な情報をお客さまに提供する活動として、信頼性セミナーを開催しています。2018年度は176社247名のお客さまに参加いただきました。特別講演では、横浜国立大学 リスク共生社会創造センター 准教授の澁谷様よりHALT (Highly Accelerated Limit Test) に関する設計評価手法とガイドラインについてご講義いただきました。また、HALTの試験事例や試験規格の最新動向もご紹介し、ご好評をいただきました。

技術者向け情報サイト「Test Navi」

技術者のための信頼性技術の専門情報サイト「Test Navi」を開設しています。環境試験のノウハウや信頼性試験の基礎から最新の試験動向まで、お客さまに役立つ情報をタイムリーにお届けしています。

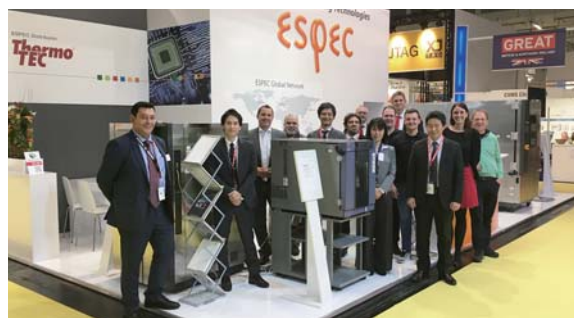
2019年3月末現在における会員登録者数は18,017名となりました。

第10回国際二次電池展に出展(東京ビッグサイト)

2019年2月、二次電池・蓄電池の製造・開発に関する世界最大の展示会「第10回国際二次電池展」に出展しました。車載用二次電池向け充放電試験専用チャンバーや「バッテリー安全認証センター」についてご紹介しました。中国企業をはじめ、自動車分野や電池分野のお客さまなど、大変多くの方々にご来場いただきました。

エレクトロニカ2018に出展(ドイツ・ミュンヘン)

2018年11月に世界最大規模の電子部品専門の展示会「エレクトロニカ2018」にドイツの代理店と共同出展しました。国際標準規格IECやドイツ自動車業界規格LV124に適合した新製品ハイパワー恒温(恒湿)器急速温度変化タイプや、試料への配線がしやすい冷熱衝撃装置など、欧州市場向け製品を中心に展示しました。車載部品メーカーをはじめ、EU圏内、インド、中国、台湾など世界各国より多数ご来場いただきました。



エレクトロニカ2018(ドイツ・ミュンヘン)

従業員とのかかわり

人事制度・教育

人事方針

会社の盛衰は「人」で決まります。会社にとって「人」が中心であり「人」重視の経営こそが会社発展の原動力です。「社員が主役の会社でありたい」というのが基本的な考え方です。

また、高いモチベーションと品格を兼ね備え、チャレンジ精神に富む良質な人材の開発・育成に取り組むことで「社員能力・活力の最大化」を目指していきます。

コミットメントセッション(目標管理面談)の実施

全社員を対象とした目標管理面談「コミットメントセッション」を定期的の実施しています。社員一人ひとりの目標設定や業務上の課題、今後のキャリアビジョンなどについて、本人と上司が話し合うことで、部門におけるベクトル合わせとコミュニケーションの円滑化を目指しています。

コース選択制度(勤務地限定選択制度)

家庭の事情や価値観・労働観により異動を限定的にすることを望む社員に対し、勤務地限定の選択肢を付与する制度です。2019年3月末現在におけるコース選択状況は「転勤あり(海外含む)」が82%「勤務地域限定」が18%となりました。

社内公募制度

特定の事業やプロジェクトなどの要員を社内で募り、社員が自由に応募できる制度です。社員のチャレンジ精神を育成・尊重するとともに、人材の発掘・流動化による組織全体の活性化を目的としています。社員は事務局である人事部門に直接応募し、応募情報は秘匿されます。

社員表彰の実施

1991年より毎年、特許・実用新案の取得や行政・加入団体からの表彰など、精励・功労の著しい社員を他の模範としてたたえる社員表彰を行っています。

自己啓発教育支援

自己啓発教育講座、援助金支給制度(外国語学習支援、通信教育、推奨資格)など、社員の「伸ばしたい能力」に合わせた教育支援を行っています。

2018年度は、自己啓発教育講座を新たに4講座開講するなどさらなる充実を図り、418名が受講しました。通信教育106名・推奨資格91名・外国語学習35名が援助金支給制度を利用しました。また、グローバルに活躍する経営幹部の育成を目的とした「エグゼクティブ育成制度」を新設しました。MBA(経営学修士)や大学卒業資格の取得、語学力など、経営幹部として求められる能力や見識を備えるための支援を行っています。



自己啓発教育講座

グローバル・トレーニー・プログラム(海外研修制度)

国際的に活躍できる中核的人材を育成するため、グローバル・トレーニー・プログラムを設けています。この制度は、社員を海外グループ会社に一定期間派遣し、現地での実務体験を通してグローバルな考え方や幅広い見識を身に付けるものです。2018年度はタイ2名、中国2名、ドイツ1名を派遣しました。



現地研修 (ESPEC ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.)

ダイバーシティの推進

女性の活躍推進

● 女性社員の育成

意欲や能力のある女性が働きやすく活躍できる組織づくりに力を入れています。2013年度より女性リーダー育成研修を実施し、これまでに23名が受講しています。2017年度には若手女性社員を対象としたキャリアデザイン研修、2016年度と2018年度には管理職を対象とした女性活躍推進セミナーを実施しました。2019年4月1日現在の女性役員比率は5.9%（1名）、女性管理職比率は4.5%（4名）です。2019年1月、代表取締役社長が内閣府支援の「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言に賛同しました。



女性社員向けキャリアデザイン研修

行動宣言

輝く女性の活躍を加速する
男性リーダーの会

● 出産後も働きやすい職場環境づくり

正社員だけでなく契約社員やパートタイマーにも育児休業や短時間勤務制度の活用を推進しており、短時間勤務は子供が小学3年生を修了するまで利用可能です。2018年度は6名が育児休業を取得し、7名が短時間勤務を利用開始しました。育児休業取得率は女性100%、男性6%でした。また、2019年8月より在宅勤務制度を導入するなど、出産後も働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

● 社外からの評価

2019年9月、大阪府男女いきいき事業者表彰において「男女いきいき優秀賞」を受賞しました。



子育てサポート
企業「くるみん」



女性活躍推進
企業「えるぼし」
(3段階目)



大阪府 男女
いきいきプラス
認証



大阪市女性活躍
リーディング
カンパニー認証

※ P.14のESPEC NEWSもご覧ください。

定年退職者の再雇用

定年退職者の再雇用制度を導入しています。希望者全員を65歳まで雇用するようしており、2018年度は定年退職者31名のうち、再雇用者は29名となりました。また、55歳を迎える社員を対象に再雇用を見据えた今後のキャリアについて考える機会として、キャリアプラン研修を実施しています。

障がい者の雇用

障がいのある方が14名勤務しています（2019年3月末現在）。障がい者を、その能力や適性に応じてできるだけ多く雇用できるように、今後も継続して職場環境の改善や職務の見直しなどに取り組みます。

快適な職場環境づくり

柔軟な働き方に向けて

単月の時間外労働時間が80時間を超える社員に対して医師による面接指導を義務付けています。また、家庭と仕事のバランスを考慮し、有給休暇計画取得制度やフレックスタイム制度を導入しているほか、一斉退社日（ノー残業デー）の設定、事業所の一斉消灯を実施しています。2018年度には、コアタイムのないスーパーフレックスタイム制度や在宅勤務制度の試験運用を行い、2019年8月より正式導入するなど柔軟な働き方に向けた取り組みを強化しました。

メンタルヘルスケアの推進

心の健康問題への対策として、社員とそのご家族を対象としたメンタルヘルスケア制度を導入しています。毎月自己の状況を確認できるストレス診断のほか、電話やWEB、面接による相談窓口の設置、メンタルヘルスマネジメント研修などを行っています。2018年度は、全社員で一斉にストレスチェックを実施しました。

セクハラ・差別行為に関する連絡・相談窓口

セクハラやその他の差別待遇、いやがらせ行為などについて、社員からの連絡・相談を受け付ける窓口を設置しています。

従業員とのかかわり

労使関係

労働組合はユニオンショップ制としており、組合員は633名、組合員比率は78.7%です(2019年3月末現在)。労働組合とは労働協約のもと相互信頼に基づいた健全な労使関係を維持し、対等の立場でさまざまな労使課題に取り組んでおり、毎月「労使協議会」を開催し、情報・意見交換を行っています。

安全衛生活動

安全衛生委員会を設置し、委員による事業所内の安全パトロールを行うなど、労働災害の撲滅、労働環境の改善に努めています。また、交通事故防止の対策として、安全運転適性検査の実施や安全運転講習会による啓発活動に取り組んでいます。2018年度の休業労働災害発生件数は0件で、連続無災害日数(不休災害を除く)は654日となりました。(2019年3月末現在)

■安全衛生活動の実績

	2016年度	2017年度	2018年度
労働災害(不休災害を除く)	0件	2件	0件
健康診断受診率	100%	100%	100%
車、バイク、自転車による人身事故	5件	3件	3件
車、バイクによる自責事故	19件	21件	23件

福利厚生の充実

社員の多様なニーズへの対応や、より公平な福利厚生サービスの提供を目的として、自身で必要なサービスを選択する選択型福利厚生制度「カフェテリアプラン」を導入しています。育児や介護、旅行など多様なメニューから割引サービスなどを受けることができます。また、社員の資産形成を支援するため、財産形成貯蓄制度では社員の積立額に対して、従業員持株会では会員の拠出金に対して、定率の奨励金を会社より支給しています。2017年より社員が病気やケガで長期間働くことができなくなった場合に一定の収入を補償するGLTD(団体長期障害所得補償保険)制度を導入しています。

従業員とのコミュニケーション

ラウンドアップ研修会の実施

全社員を対象にラウンドアップ研修会を実施しています。ラウンドアップ研修会は、社員一人ひとりが企業理念の理解を深め、より良い企業文化を形成するために毎年実施しています。2018年度は、管理職や一般社員、新入社員といった各層のプログラムに加え、世代を超えた人材を集めたプログラムなど計15回開催し、343名が参加しました。



ラウンドアップ研修会

社長メッセージ

社内ホームページに、社長メッセージを定期掲載しています。社長の考えや経営戦略の進捗などを全社員にタイムリーかつダイレクトに伝えています。また、2018年度は、社員が仕事上の悩みや課題を投稿することで直接社長に相談できる「明るい仕事相談室」を新設しました。経営層と社員の双方向のコミュニケーションを推進するとともに、価値観の共有を図っています。

社内報「プログレッシブ」の発行

全社員への企業理念THE ESPEC MINDの理解深耕や共有、事業活動の情報共有を目的とした社内報「プログレッシブ」を定期的に発行しています。



取引先さまとのかわり

取引先さまとの
より良い関係を目指して

基本方針

私たちは取引先さまと良好なパートナーシップを構築し、相互発展できる関係づくりを重視しています。取引においては、関係法令・法規を遵守し、公正・公平な取引関係のもと、グローバルな観点で国内外から必要な資材・サービスなどを適切な品質・価格・納期・環境への配慮などを総合的に判断し調達していきます。

法令の理解・遵守のために

資材調達においては「下請代金支払遅延等防止法（下請代金法）」遵守の徹底を目的として、社内教育をはじめ、さまざまな取り組みを行っています。

2018年度は、監査対象部門への定期的な自主監査を継続して実施し、懸案事項への必要な措置を講じることで、違反行為を未然に防ぐ活動に取り組みました。また、購買担当者や取引先さまと関係のある部門責任者、営業責任者を対象とした下請代金法の研修会を2回開催しました。新任配属者に対する基礎講習会も年度初めに実施するなど、全社一丸となって下請法遵守体制の強化に取り組みました。

事業継続マネジメントの取り組み

自然災害や取引先さまの倒産など不測の事態が生じた場合、お客さまへの影響を最小限に抑えるため、資産である金型の現物確認や、取引先さまの経営状況などの確認を定期的実施しています。

2018年度は、サプライヤ評価項目の見直しを行いました。従来の評価項目であるQCDESM(Q:品質、C:コスト、D:納期、E:環境、S:サービス、M:経営)に加え、コンプライアンスやBCP(事業継続計画)の取り組みも評価項目に追加しました。主要取引先さま163社に対して評価を実施し、必要に応じて現場訪問を行うことでリスク低減に努めました。また、エスペックが策定した「災害確認基準」と「初期対応方法」に基づく実践活動を継続して行いました。取引先さまの被災状況や重要部品の状況確認を迅速に実施することで生産現場への影響を最小限に抑えることができました。

「エスペック共栄会」の運営

1981年より取引先さまとの相互信頼の構築、および共存共栄を目的とした「エスペック共栄会」を組織しており、35社の取引先さまに参画いただいています。(2019年3月末現在)

2018年度は、現場力の強化を目的に、QCサークル活動の活性化に継続して取り組むとともに、さらなる品質向上に向けてお取引先の現場責任者の方を対象とした品質マネジメントシステム(QMS)説明会を開催しました。お取引先さまに当社の品質改善活動への理解を深めていただくことで、新たなQMS構築に尽力いただくなど、大変有意義な活動となりました。また、多大なご協力をいただいた取引先さまに対して、感謝の意を表する「エスペック優秀取引先表彰制度」を導入しています。2018年度は、社長賞2社・優秀賞4社・特別賞1社の取引先さまを表彰しました。



品質マネジメントシステム(QMS)説明会

グリーン調達の実施

資材調達先に対するグリーン調達においては、ISO14001認証取得をはじめとした環境マネジメントシステムの構築を条件に、環境負荷低減や環境関連法の遵守など環境管理活動を評価する指針として「エスペックグリーン調達基準書」を制定しています。2018年度は、グリーン調達認定取引先の拡大を目的に、取引先さまへの現場指導に継続して取り組みました。その結果、登録部品点数の96%を占める計122社の取引先さまが認定基準を満たすことができました。

「市況説明会」の開催

2018年6月に主要取引先さま68社をお招きし「市況説明会」を開催しました。経済動向や受注状況など、取引先さまの生産活動に必要な情報を事前に提供して共有することで、安定調達の実施に取り組みました。

株主・投資家さまとの かかわり

株主・投資家さまとの コミュニケーション

情報開示の方針・体制

会社法、金融商品取引法等関係法令、証券取引所の定める適時開示規則などに従い、情報開示を行っています。また、同規則に該当しない情報についても、私たちが理解していただくうえで役立つ情報は、積極的かつ公平に開示していきます。社内体制としては、開示情報を審議する機関として、情報開示委員会を設置しています。

開かれた株主総会に向けて

株主総会を株主さまと直接対話のできる貴重な機会であると考え、より多くの株主さまにご参加いただけるよう、集中日を避けて開催しています。

第66回定時株主総会では、131名の株主さまにご出席いただきました。総会終了後には、株主さまと役員が気軽に交流する場を設けました。2019年度は招集ご通知を法定期日より1週間前に発送しました。さらに、東京証券取引所および当社ホームページにおいて、法定期日の2週間前に早期開示を実施しました。また、議決権行使の利便性向上のため、郵送に加え、インターネット経由での行使も可能にしています。



第66回定時株主総会

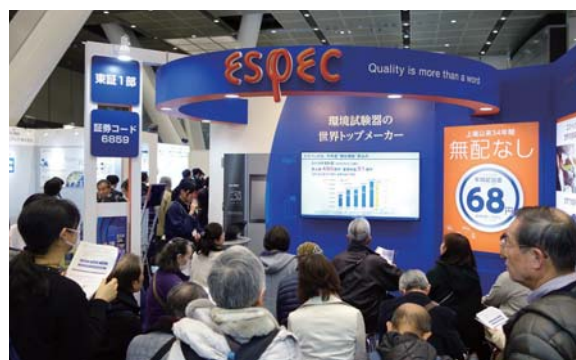
機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

機関投資家・証券アナリストの方を対象とした決算説明会を実施しています。説明会には社長と役員が出席し、業績や戦略などについて説明しています。

また、個別ミーティングについても東京・大阪を中心に随時行っており、2018年度は約110回実施しました。

東証IRフェスタへの出展

2019年2月に東京国際フォーラムで開催された東京証券取引所主催の個人投資家向けIRイベント「東証IRフェスタ2019」に出展しました。社長や社員による会社説明会を実施し、2日間で1,900名以上の方々にお越しいただきました。また、説明資料のわかりやすさや女性活躍推進の取り組みなどが評価され、大学投資サークルの学生による「学生が選んだIR TOP10」に選出されました。



ブース内説明会

個人投資家向け会社説明会(大阪)の開催

2019年3月、野村證券梅田支店(大阪市)において、個人投資家向け会社説明会を開催し、約140名の方々にご参加いただきました。今後も個人投資家のみなさまと情報交換をさせていただく機会を積極的に設けてまいります。

ラジオNIKKEI「アサザイ」に出演

2019年2月、ラジオNIKKEIの投資家向け番組「朝イチマーケットスクエア「アサザイ今日の1社」」に出演し、社長より私たちの事業や強みを紹介しました。

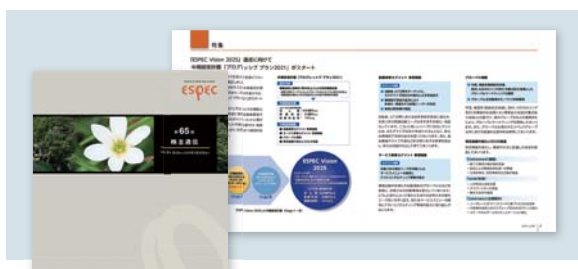
環境省「環境情報開示基盤整備事業」へ参加

企業と投資家などが環境情報を中心とした実質的な対話を行う環境省の「環境情報開示基盤整備事業～ESG対話プラットフォーム～」に参加しています。コーポレートガバナンス報告書やサステナビリティレポートなど、投資家さまへのESG情報の開示を行っています。

IRツールの充実

●株主通信

年2回発行している株主通信では、株主さまにエスペックについてよりご理解を深めていただくため、私たちのさまざまな取り組みを紹介しています。2018年度は特集記事として、新しくスタートした中期経営計画「プログレッシブ プラン2021」や人材育成の取り組みなどについて掲載しました。



第65期 株主通信

●ホームページ(IRサイト)

IRサイトでは、中期経営計画、財務・業績データ、決算説明会などの各種IRイベント資料を掲載するなど投資家のみなさまに有用な情報の発信に努めています。2018年度はホームページのリニューアルを実施し、スマートフォン対応を行いました。



IRサイト(左:PC版 右:スマホ版)

IRサイトに対する社外評価

エスペックのIRサイトは、日興アイ・アール社主催の「2018年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」において、優秀サイト(総合ランキング)に認定されるなど、社外より高い評価をいただいています。



経営へのフィードバック

株主・投資家さまアンケート

会社説明会などにおいて投資家さまからご意見をいただいています。また、株主通信の送付時にアンケートを実施し、株主さまからいただいたご意見などを中間株主通信で報告しています。2018年度は、1,963名の株主さまからご回答をいただきました。

市場評価のフィードバック

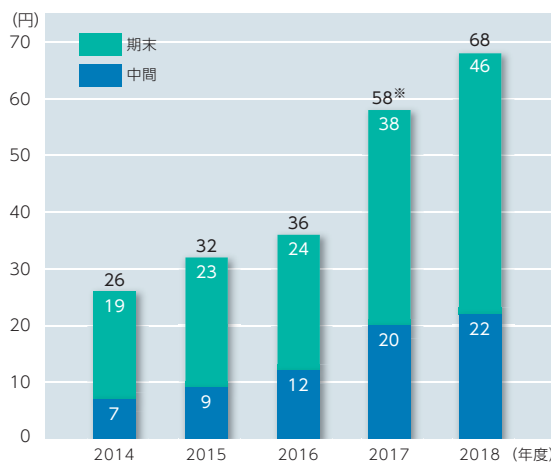
IRイベントや株主通信のアンケート結果、および個別ミーティングで伺ったご意見などをレポートにまとめ、取締役会で随時報告を行っています。市場の評価を社内にフィードバックすることで、課題を浮き彫りにし、今後のIR活動や経営の質の向上に努めています。

株主さまへの還元

利益配分に関する基本方針

私たちは、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、継続性と配当性向を勘案して配当を決定することを基本方針としています。2018年度の年間配当金は1株当たり68円とさせていただきます。

■1株当たり配当金



※記念配当 中間1円、期末1円含む

社会貢献

社会とのコミュニケーション

公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」

創業50周年となる1997年、自らの社会的責任を全うする事業として公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」を設置しました。地球環境保全に関する調査研究や技術開発などに対し資金援助を実施しており、これまでに240団体に対し、総額1億2,315万円の助成を行いました。

2018年度は、応募数133件の中から、19件のテーマについて助成しました。



第21回公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」授与式

■ 審査委員（敬称略）

今中 忠行

京都大学 名誉教授
立命館大学 総合科学技術研究機構 上席研究員

大政 謙次

東京大学 名誉教授
高崎健康福祉大学 農学部長・教授

佐山 浩

関西学院大学 総合政策学部 教授

鈴木 胖

大阪大学 名誉教授
公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)
関西研究センター 所長

松下 和夫

京都大学 名誉教授
公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)
シニアフェロー

吉村 元男

株式会社環境事業計画研究所 会長
鳥取環境大学 元教授

■ 第21回研究テーマ

- 1 森林土壌の炭素蓄積プロセスの解明
ー微生物分解作用による炭素の放出・流出量の定量とその環境応答性ー
- 2 小型無人航空機による大型哺乳類の検出精度の推定と個体数モニタリング手法の確立
- 3 「エネルギー」を生かした持続可能なまちづくりに関する研究
ー市民の意識と市民の果たすべき役割に着目してー
- 4 北ボルネオの泥炭湿地林で優占するフタバガキ科 *Shorea albida*の起源の解明とそれに基づいた植林ガイドラインの作成
- 5 環境対応型防汚塗料開発を目的とした遠州の海洋生物資源由来付着阻害物質探索研究
- 6 RNAiを利用した外来アリ類の環境調和型新奇防除法の開発
- 7 ZIF-8ナノ結晶による水環境中過フッ素化合物吸着除去技術の開発
- 8 メタゲノミクスと機械学習を用いた外来種と在来種の判別手法の開発
- 9 南西諸島周辺の表層～中深層における無藻性イシサンゴの分布と多様性の解明
- 10 洋上風力発電に資する風況の空間代表性に関する研究
- 11 健全な緑化のための遺伝的ガイドライン
- 12 多数国間環境協定における科学的知見への対応
ー生物多様性条約/名古屋議定書レジームを中心にー
- 13 環境保全型農業を目的としたUAVによる農地土壌リモートセンシング
- 14 災害に強い太陽熱を使った分散協調型エネルギーシステムの研究
- 15 環境DNA解析による長良川におけるアユの時空間動態把握の試み
- 16 巨大地震・津波で攪乱された砂浜植生の自律的再生様態の把握とそのメカニズムを活かした合理的復元手法の検討
- 17 隧道内点検支援装置の試作研究
- 18 地球環境を支える希少微生物を生きたまま解析し保存する基盤技術の開発
- 19 エビデンスに基づく環境教育指導者の育成方法の探求
ーインタープリター研修を例としてー

公益信託の応募受付は、毎年4月より行っています。応募要項などの詳細については、エスペックのホームページの「エスペック地球環境研究・技術基金」に掲載しています。

エスペックみどりの学校



私たちはエスペックみどりの学校を開校し、全国各地でセミナーやイベントなどを開催しています。この学校は、環境教育等促進法に基づく人材認定等事業で、累計受講者数は12,282名(2019年3月末現在)となりました。

●「みどりのカーテン」出前授業を実施

福知山市のみどりのカーテン実施率向上に貢献

みどりの学校では、窓際にゴーヤを育てることで温暖化防止に取り組む「みどりのカーテン」の小学生向け出前授業や市民向けセミナーを全国で行っています。2018年度は19回実施し、943名が参加しました。エスペックでは、主力工場がある京都府福知山市が掲げる目標「みどりのカーテン日本一のまち福知山」の達成に向け、市民の方を対象とした苗の無料配布やセミナー開催など、みどりのカーテンの普及活動を行っています。その結果、2018年度の福知山市のみどりのカーテン実施率は8.3%(2,580世帯)となり、福知山市の目標の達成に大きく貢献することができました。

【復興支援ありがとうの森2020】福知山植樹祭を開催

2018年10月、福知山工場において「復興支援ありがとうの森2020」福知山植樹祭を開催しました。宮城県岩沼市の震災復興プロジェクト「千年希望の丘」は、岩沼市の沿岸部に植樹してつくる森の防潮堤です。私たちは、本プロジェクトにおいて苗木の寄贈や、社員ボランティアの参加など、継続した支援を行ってきました。こうした支援活動に対するお礼として一般社団法人森の防潮堤協会より苗木を寄贈いただけることとなり、植樹祭を開催しました。植樹祭では、森の防潮堤協会と当社社員が、生態系を乱す可能性のある外来樹種を除去した場所に在来広葉樹の苗を植えました。



植樹風景

宇都宮市青少年健全育成推進事業者表彰を受賞

2019年1月、宇都宮テクノコンプレックスが、青少年の健全育成に貢献する活動をしている事業者として宇都宮市から「平成30年度 宇都宮市青少年健全育成推進事業者表彰」を受賞しました。独自の取り組みとして環境フェスティバルを開催するなど、環境への取り組みを積極的に発信して地域と協働で体験の機会を提供していることが評価されました。



表彰式

【高校生のためのフューチャーフォーラム】への参加

2019年7月、西舞鶴高等学校において京都府・京都経営者協会主催の京都のリケジョ応援プログラム「高校生のためのフューチャーフォーラム」が開催され、当社の女性社員2名が講師として参加しました。本プログラムは、女子高校生がロールモデルとなる大学生や先端技術に取り組む企業で働く女性研究者・技術者との交流を通じて、具体的な未来像を描いてもらうことを目的としています。



高校生のためのフューチャーフォーラム

豪雨災害義援金の寄付

2018年7月に発生した西日本を中心とした豪雨被害の復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通じ、被災地に対して50万円の災害義援金を寄付しました。